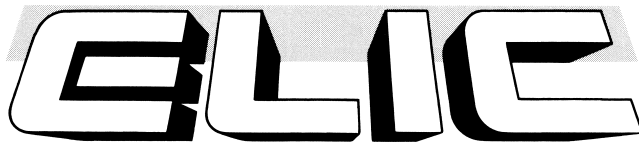


電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence



2021年8月10日

No 404

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

賃金政策提言冊子の学習

労働者の目線で賃金問題を解明

電機懇と電機・情報ユニオンが渾身の思いで作成し、今年2月に発刊した賃金政策提言冊子は、電機業界に勤める現場の労働者の目線を意識しながら、私たち労働者がどのような観点から賃金問題を捉え、改善のための働きかけを行っていくべきかを考察したものです。冊子は「電機の賃金最前線」「賃金とは何だろうか」「問題の本質は何か」「賃金はどうかあるべきか」「より良い賃金の実現に向けて」の5章から構成されており、賃金問題を多面的な視点からとらえた類著のない構成となっていると自負しています。概要は、今年1月23日の電機のつどいにて、報告と説明を行いました。当日に冊子の印刷が間に合わなかったことなどから、十分とは言えませんでした。

9企業・20職場から25人が出席

そこで、内容を理解し深めることを目的に、オンラインによる学習会（写真上）の開催を決定したものです。学習会は3月から7月までの第4日曜日に5回（下表）に分けて実施しました。学習時間は計7時間、参加者はのべ87名でした。

司会進行は谷口電機懇事務局長が担当し、チューターを事務局次長が務めました。冊子の内容を1ページ目から順番にたどりながら、チューターが参加者からの質問や疑問に答えたり、参加者どうしで意見交換をするなどの方法で進めて行きました。各回とも、積極的な意見をいただくことがで



きました。特に、日本で主流の企業別労組が賃金問題と深く関わっていること、労働者が生産性向上に取り込まれることの弊害、賃金問題を人権という視点から捉えることの大切さ、賃金制度を労働者側が提言することの危うさについてなど、折々参考になるご意見をいただき、さらに理解を深めることができました。

参加された方々からは、「読みながら疑問に思っていたところが解説され、気分が晴れていくような感じでした」、「皆様と懇談や交流出来うれしかったです」などの感想をいただくことが出来ました。ご都合が付かず参加できなかった方も、冊子に目を通していただき、引き続きご意見、感想や質問などを頂ければ幸いです。

今月号の紙面

- ①賃金政策提言オンライン学習会
- ②金属労研、時短闘争の研究会
- ③沖電気のリストラアンケート活動
いの健東京センター第18回総会
- ④日立茨城リストラ「第2回学習会」
- ⑤ルネサス懇「第11回総会」開催
- ⑥ラプラス「岡崎紹介」林さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第34回総会」案内
不当解雇撤回闘争。集積回路

開催	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
月日	3月28日	4月25日	5月23日	6月27日	7月25日
参加	21人(現12)	19人(現10)	18人(現9)	13人(現8)	16人(現10)
進行	P1~P9	P10~P15	P16~P23	P24~P37	P38~P59
ページ	9	16	8	14	22